

(参考様式4-1)

秋田3期地区活性化計画 改善計画書

平成27年9月24日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
秋田県	秋田県	秋田3期	平成21～25年度	平成21～25年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
農林水産物処理加工施設 【米粉の郷あきた地区】	米粉製粉設備 一式		瑞穂食品株式会社	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 B/A	備考
地域産物(米粉用米)の販売量の増加	%	%	%	
当初計画	955.76	612.26	64.06	計画期間(H21～25)
第1回改善計画	955.76			“(H26～31)
第2回改善計画	501.23			“(H27～32)

2 目標が達成されなかった要因

<ul style="list-style-type: none"><li>事業実施当初は、国の積極的な働きかけの基に、大手食品メーカーで米粉を使った新商品を開発し販売していたため、それに対応した米粉商品（業務用米粉）の販売が堅調に推移した（米粉用米の生産・販売数量も増加）。</li><li>しかし、各メーカーとも小麦代替としての利用に止まったため、小麦粉との価格差に見合う価値を消費者に訴求できず末端需要が低下。結果、業務用米粉の売れ行きも減速し、瑞穂食品(株)において米粉の在庫が発生し、米粉用米の契約量が低迷した。 ※ 新規需要米制度では、実需との契約を根拠として米粉用米として認められるが、瑞穂食品(株)からの契約数量が減少したため、生産意欲はあっても作付けできないという状況。</li></ul>
--

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	平成32年度
事業の推進体制	日本製粉（瑞穂食品の親会社）、瑞穂食品、全農秋田県本部、県
具体的取組方策	<ul style="list-style-type: none"><li>「食料・農業・農村基本計画(H27.3.31)」における米粉用米の生産努力目標の見直しや、新たな「米粉の新用途への利用の促進に関する基本方針(H27.4.16)」を踏まえ、平成26年度に策定した改善計画を再検証するとともに、現在の在庫状況、今後の販売見通しを総合的に勘案し、目標値を下方修正する。</li></ul> <p>〈瑞穂食品〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>展示会、商談会への出展による新規実需の掘り起こし</li><li>量販店での惣菜(天ぷら、唐揚げ等)向け商品やベーカリー向け米粉入り菓子等のレシピ開発と営業活動の強化</li></ul> <p>〈全農(県本部)〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>安定多収技術の確立に向けた現地指導</li></ul> <p>〈県〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>米粉料理教室や関連イベントの開催による県内での普及推進</li></ul>

4 改善計画に対する第三者の意見

<p>(コメント)</p> <p>国や実需者との連携により需要拡大対策等の強化を図り、事業活性化計画の目標が達成されるよう、引き続き、指導すること。</p> <p>秋田県農林水産部農業関係補助事業に係る第三者委員会 委員長 鶴川 洋樹(秋田県立大学生物資源科学部教授)</p>
--

(参考様式4-2添付資料)改善計画書及び目標達成状況報告書の達成率等算出根拠

秋田県  
秋田3期地区活性化計画

目標数値

(単位:t)

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
地域産物の販売量の増加	-	-	-	-	-	1,743	1,650	1,710	1,770	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,148
	事業実施前					計画期間				6,873	改善期間(1回目)				6,873

(単位:t)

H27	H28	H29	H30	H31	H32
111	503	700	800	900	900
改善期間(2回目)					3,914

実績数値

(単位:t)

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
地域産物の販売量の増加	-	-	-	-	651	1,267	1,284	1,662	424	122						
	事業実施前					651	計画期間			4,637	改善期間(1回目)					122

(単位:t)

H27	H28	H29	H30	H31	H32
111					
改善期間(2回目)					111

【事後評価】

① = 目標値A = (目標/現状) × 100-100(%) = 955 %

② = 実績値B = (実績/現状) × 100-100(%) = 612.26%

達成率 = ② ÷ ① = 64.1%

【改善計画(1回目)の事後評価】

①' = 目標値A = (目標/現状) × 100-100(%) = 955 %

②' = 実績値B = (実績/現状) × 100-100(%) = -81.26%

達成率 = ②' ÷ ①' = -8.5%

【改善計画(2回目)の事後評価】

①'' = 目標値A = (目標/現状) × 100-100(%) = 501 %

②'' = 実績値B = (実績/現状) × 100-100(%) = -82.95%

達成率 = ②'' ÷ ①'' = -8.7%

(別表)目標達成に向けた方策

○ 目標達成年度の設定根拠について

- ・ 目標達成年度平成32年度

- ・ 設定理由
 

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改善期間(1回目)の目標数値は、当初計画の目標数値6,873トン、今後の6年間で達成させることとして、年間1,145トンの米粉用米の目標契約数量とした。</li> <li>・ 改善期間(2回目)は、厳しい販売環境が続いており、在庫調整が必要なことから、事業実施主体の瑞穂食品(株)では、当面の3カ年は在庫調整期間に位置づけ、中期的(平成29～平成32年)には、現在の米粉関連製品(1,500トン/年の製造量)の原料として必要とされる年間900トンを米粉用米の目標契約数量とし、長期的(平成33年以降)には年間1,200～1,400トンを目標に掲げ、投資効率「1」が達成されるよう商品開発や営業強化に取り組むものである。</li> </ul>
---

○ 事業実施前における地域産物(米粉用米)の販売量  
(単位:t)

区 分	H17	H18	H19	H20	H21
販売量	-	-	-	-	651

○ 地域産物(米粉用米)の販売量の目標値・実績値

(単位:t)

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計	増加率
活性化計画 期間目標 (当初)	1,743	1,650	1,710	1,770								6,873	955.76% ①
活性化計画 期間実績値	1,267	1,284	1,662	424								4,637	612.26% ②
改善計画 (1回目) 目標値					1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,148		6,873	955.76% ③
改善計画 (1回目) 実績値					122	/	/	/	/	/		122	-81.26% ④
改善計画 (2回目) 目標値						111	503	700	800	900	900	3,914	501.23% ⑤
改善計画 (2回目) 実績値						111						111	-82.95% ⑥

達成率(H22～H25) : ②÷①×10 64.1%

達成率(H26～H31) : ④÷③×10 -8.5%

達成率(H27～H32) : ⑥÷⑤×10 -16.5%